



今月のイチオシ化石紹介

Yabeiceras cf. manasoense

Yabeiceras 属は白亜紀後期の Coniacian に生息していたコリニョニセラス科 (Collignoniceratidae) のアンモナイト類で、Wright et al. (1996) によれば殻形態は *Forresteria* に似るものの、殻上の突起は小さく、成長すると腹側側面の小突起が消失しキールが滑らかになるほか、最終的には殻装飾が消える。*Yabeiceras* 属は Tokunaga and Shimizu (1926) によって双葉層群から報告・記載されたが、早稲田大学に保管されていたホロタイプ標本はアメリカ軍の空襲により残念ながら焼失してしまった。

Futakami et al. (2016) は模式属の産地及びアンモナイトセンターから産出した *Yabeiceras* を再検討し、3 種を識別・記載した。即ち、*Yabeiceras orientale*, *Y. kotoi*, *Y. cf. manasoense* である。*Yabeiceras* 属の化石は日本のほかマダガスカル、南アフリカ、スペイン、ルーマニアから発見されているものの、報告・記載されている標本数は 34 個しかない (Futakami et al. 2016; 二上・鈴木, 2019)。アンモナイトセンターは数少ない *Yabeiceras* 属アンモナイトの産

出露頭であり、今後も更なる産出が期待できる点で研究上大変重要である。

(参考文献)

Fuakami, M., Obata, I., Suzuki, T., and Watanabe, N., 2016. Revision of *Yabeiceras*, a Coniacian (Late Cretaceous) ammonite genus, based on material from the type locality in Fukushima, Japan. *Cretaceous Research*, 61; 220-233.

二上政夫・鈴木直, 2019. いわき市アンモナイトセンターの上部白亜系双葉層群足沢層より産出したコニアシアン・アンモナイト. *いわき市教育文化事業団研究紀要*, 16; 1-7.

Tokunaga, S. and Shimizu, S., 1926. The Cretaceous formation of Futaba in Iwaki and its fossils. *Journal of the Faculty of Science, Imperial University of Tokyo, Section 2. Geology, Mineralogy, Geography, Seismology* 1; 181-212.

Wright, C. W., Calloman, J. H., and Howarth, M. K., 1996. *Treatise on Invertebrate Paleontology, Part L, Mollusca 4, Revised, Vol. 4, Cretaceous Ammonoidea*, 362 p. Geological Society of America, Boulder, and University of Kansas Press, Lawrence.

3月の行事報告

- ・体験発掘
開催回数：2回
- ・特別体験発掘
開催回数：0回

3月は新型コロナウイルスによる感染症対策のため、3月2日以降の体験発掘及びイベントを中止いたしました。

4月の行事予定

- ・体験発掘 (毎週土曜日・日曜日の10時～11時30分及び13時30分～15時、但し雨天中止)
- ・第一回親子自然探訪教室「水辺の生き物を探しにいこう！」(4月29日10時～13時)
申し込みは4月28日17時締切

ボランティア募集

アンモナイトセンターでは、センターの活動を支援して下さるボランティアの方を募集しています。詳しくは、お電話・E-Mail、または職員にお声がけください。



.....
いわき市アンモナイトセンター
〒979-0338 福島県いわき市大久町大久字鶴房 147-2
TEL : 0246-82-4561 FAX : 0246-82-4468
URL : <http://www.ammonite-center.jp>
E-mail : info@ammonite-center.jp